

論 文



外来種ナンオウフジツボ *Perforatus perforates* の
北九州市洞海湾における1992年の発見は東アジア初記録

梶原葉子¹⁾・山田真知子²⁾・山口寿之³⁾

1)北九州市環境科学研究所、2)福岡女子大学、3)日本付着生物学会名誉会員

Sessile Organisms 32 (2) : 25-29 (2015)

外来種のナンオウフジツボはイギリスから地中海、西アフリカにかけて分布するフジツボである。本種は2006年6月24日に韓国東海岸南部Ulsan港近郊の3港で発見されたのを皮切りに主に韓国東海岸南部の港に当時東アジアで初記録として報告された (Kim and Hong, 2010)。2012年9月27日に秋田県男鹿半島戸賀湾のイワガキ養殖に使われていたブイに付着していたのが当時日本での初発見となり、以降日本の主として北陸・東北地方へ分布を拡大した (Hamaguchi et al., 2014; 野方ら, 2015)。しかし本種は日本では九州北部の北九州市洞海湾で1992年5月11日に採集されたフジツボの試料を形態的特徴からナンオウフジツボと同定した。これは東アジアにおけるナンオウフジツボの初記録になる。歴史的試料の保存が本報告の重要な骨子となる。研究に用いられた標本は北九州市立自然史・歴史博物館に収蔵され (KMNH IvR 500844)、何時でも誰でも閲覧・検証を可能とした。